

第5章 事後調査の計画

5.1 大気汚染

5.1.1 工事の完了後

(1) 調査事項

調査事項は、表 5.1-1 に示すとおりとします。

表5.1-1 大気汚染における調査事項

区 分	調査事項
ア 予測した事項	自動車の走行に伴い発生する二酸化窒素 (NO ₂) 及び浮遊粒子状物質 (SPM) の大気中における濃度
イ 予測条件の状況	a. 気象の状況 風向、風速 b. 自動車交通量 車種、台数、平均走行速度 c. 道路横断構成 道路断面、遮音壁等の状況 d. バックグラウンド濃度 窒素酸化物 (NO _x)、二酸化窒素 (NO ₂) 及び浮遊粒子状物質 (SPM)
ウ 環境保全のための措置の実施状況	【予測に反映した措置】 ・現在よりも沿道から車道までの離隔を確保し、距離減衰の効果によって、大気汚染の低減を図ります。 ・鶴牧区間、諏訪・永山区間では、車道を道路敷地南側に集約する計画とすることで、北側の住居から道路までの離隔を確保し、大気汚染の低減を図ります。 【予測に反映しなかった措置】 ・車道の両側に植樹帯を設置します。

(2) 調査地域

調査地域は、計画道路及びその周辺とします。

(3) 調査手法

調査手法は、表 5.1-2 に示すとおりとします。

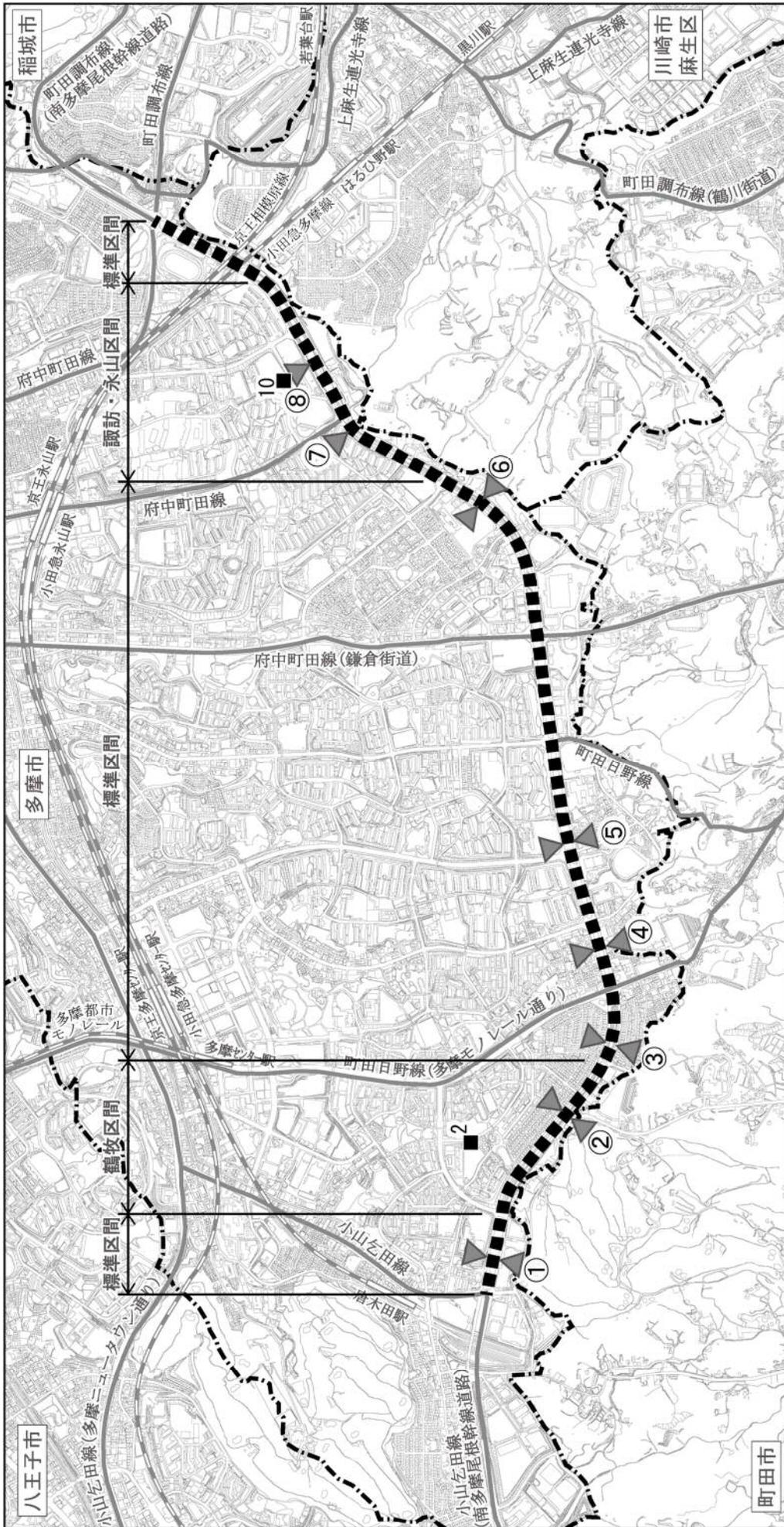
表5.1-2(1) 大気汚染における調査手法

	区 分	調査手法
調査時点 及び 調査期間	ア 予測した事項	① 計画道路の供用時（令和7年度（2025年度）） 供用開始後における四季各7日間とします。 ② 道路ネットワークの整備完了時※（令和17年度（2035年度）） 四季各7日間とします。
	イ 予測条件の状況	a. 気象の状況 「ア 予測した事項」と同一期間とします。 b. 自動車交通量 「ア 予測した事項」と同一期間内の代表的な1日（24時間）とします。 c. 道路横断構成 「ア 予測した事項」と同一時点とします。 d. バックグラウンド濃度 「ア 予測した事項」と同一期間とします。
	ウ 環境保全のための措置の実施状況	① 計画道路の供用時 供用開始後とします。 ② 道路ネットワークの整備完了時※ 道路ネットワークの整備完了後とします。
調査地点	ア 予測した事項	①計画道路の供用時 二酸化窒素 (NO ₂) 及び浮遊粒子状物質 (SPM) 計画道路沿道の図5.1-1に示す8断面14地点とします。 ②道路ネットワークの整備完了時 二酸化窒素 (NO ₂) 及び浮遊粒子状物質 (SPM) 計画道路沿道の図5.1-1に示す8断面14地点とします。
	イ 予測条件の状況	a. 気象の状況 図5.1-1に示す一般環境の2地点とします。 b. 自動車交通量 調査は図5.1-2に示す8断面とします。 c. 道路横断構成 図5.1-1に示す8断面とします。 d. バックグラウンド濃度 計画道路周辺の一般環境大気測定局及び図5.1-1に示す一般環境の2地点とします。
	ウ 環境保全のための措置の実施状況	計画道路及びその周辺とします。

※) 計画道路の供用後10年とします。ただし、多摩都市計画道路3・1・6号南多摩尾根幹線（稲城市百村～多摩市聖ヶ丘五丁目間）が供用していない場合は、当該区間の供用後とします。

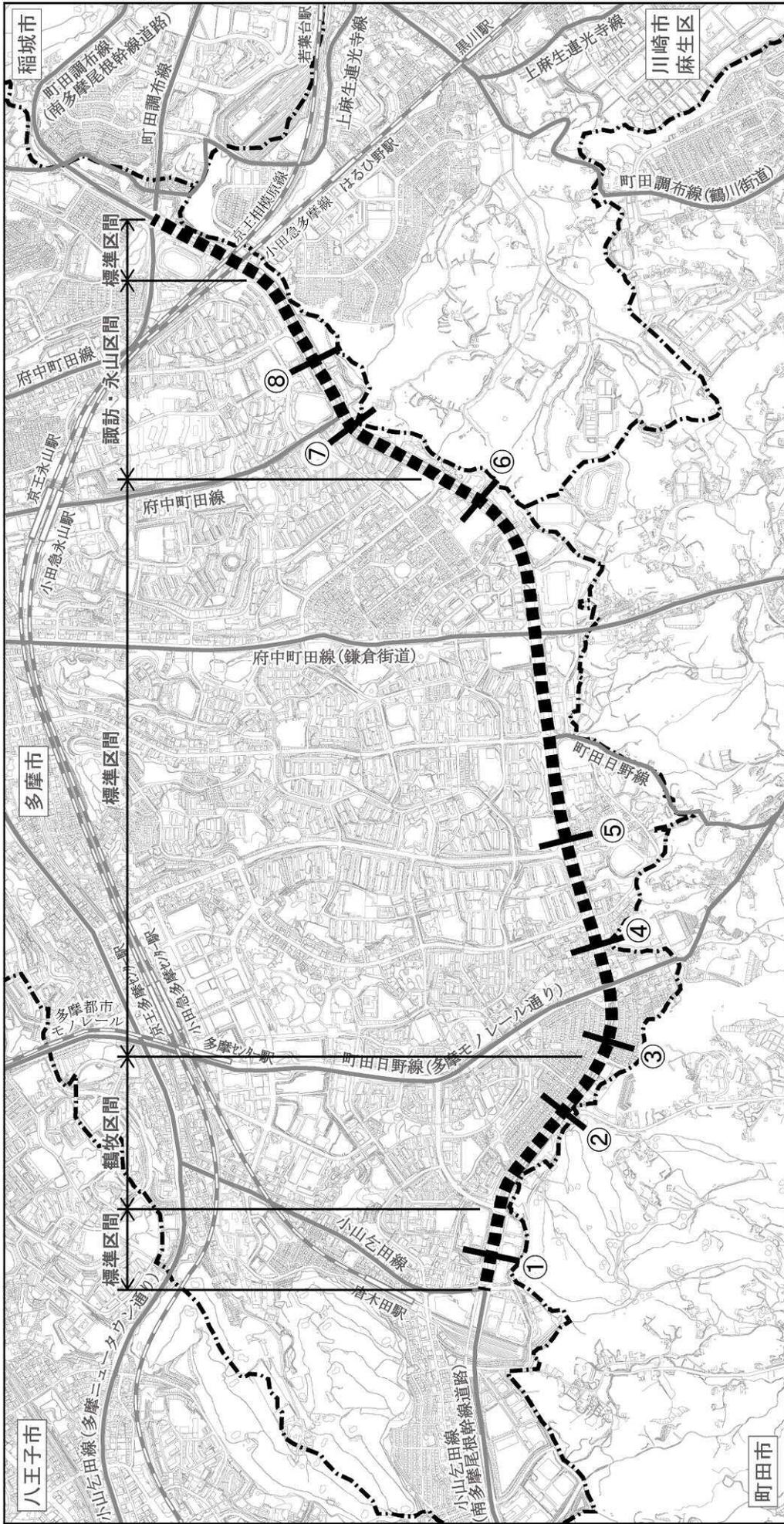
表5.1-2(2) 大気汚染における調査手法

区 分		調査手法
調査方法	ア 予測した事項	<p>二酸化窒素 (NO₂)</p> <p>調査方法：「二酸化窒素に係る環境基準について」(昭和53年環境庁告示第38号) に準拠した方法とします。</p> <p>観測高さ：地上1.5m</p> <p>浮遊粒子状物質 (SPM)</p> <p>調査方法：「大気の汚染に係る環境基準について」(昭和48年環境庁告示第25号) に準拠した方法とします。</p> <p>観測高さ：地上3.0m</p>
	イ 予測条件の状況	<p>a. 気象の状況</p> <p>風向・風速</p> <p>調査方法：「地上気象観測指針」(平成14年3月気象庁) に定める方法に準拠した方法とします。</p> <p>観測高さ：地上10.0m</p> <p>b. 自動車交通量</p> <p>ハンドカウンターを用いて方向別、車種別、時間別の通過する車両を観測する方法とします。また、平均走行速度は実車走行により走行時間を計測し、速度に換算する方法とします。</p> <p>c. 道路横断構成</p> <p>現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とします。</p> <p>d. バックグラウンド濃度</p> <p>既存資料及び現地調査結果の整理による方法とします。</p>
	ウ 環境保全のための措置の実施状況	<p>現地確認(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とします。</p>



0 250 500 1,000 1:25,000
 図5.1-1 大気質及び気象の
 現地調査地点

- 凡例
- 計画道路
 - 都県界・市界
 - 道路 (主要地方道・一般都道)
 - 鉄道・モノレール
 - 鉄道駅・モノレール駅
 - 一般環境 (大気質, 気象)
 - ▲ 道路沿道 (大気質①~⑧)



- 凡例
- 計画道路
 - 都県界・市界
 - 道路（主要地方道・一般都道）
 - 鉄道・モノレール
 - 鉄道駅・モノレール駅
- 自動車交通量

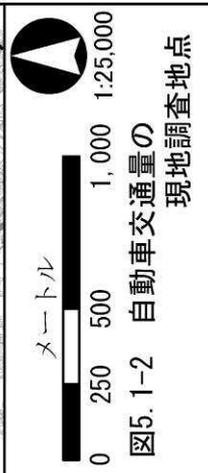


図5.1-2 自動車交通量の
現地調査地点